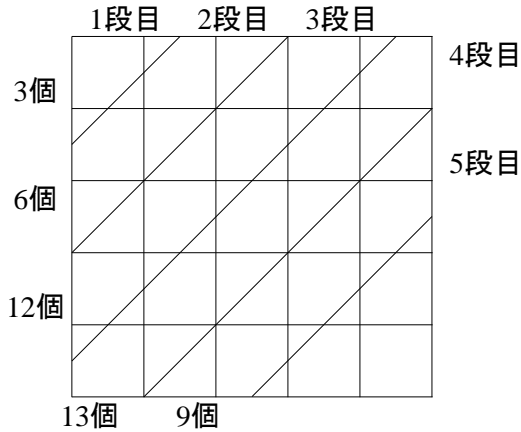




(1) 輪切り方式の平面図をかきます。Qで切ったときの平面図をひとつにまとめると、(図1)のようになります。

(図1)

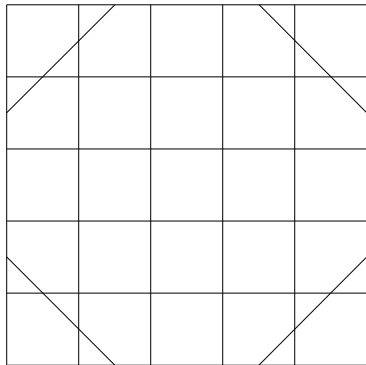


$$3+6+12+13+9=43(\text{個}) \dots(\text{答})$$

次に、各段の平面図をかきます。Q、R、S、Tで切ったときの格段の平面図は(図2)のようになります。

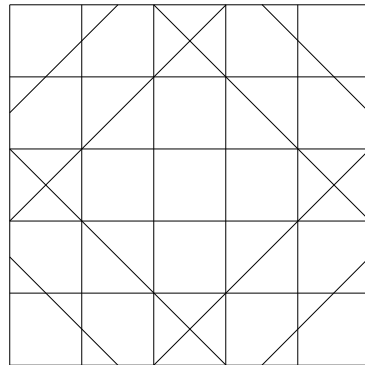
(図2)

1段目



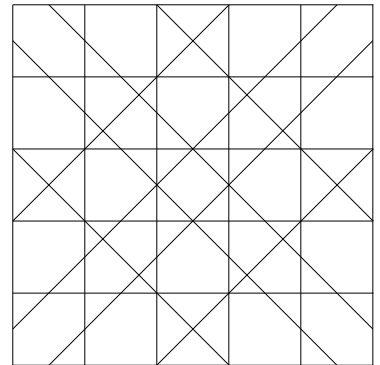
残り13個

2段目



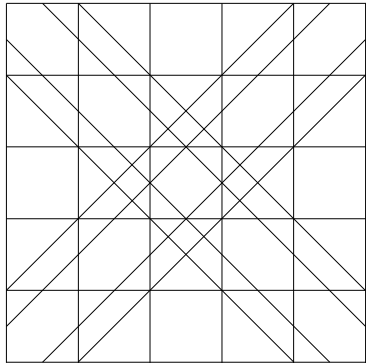
残り5個

3段目



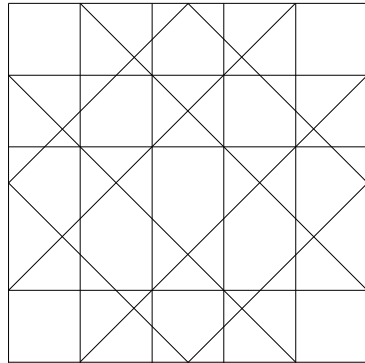
残り0個

4段目



残り4個

5段目

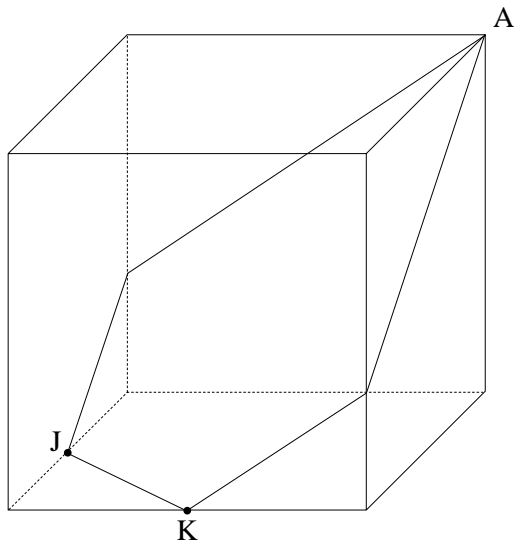


残り5個

$$13+5+0+4+5=27(\text{個}) \dots(\text{答})$$

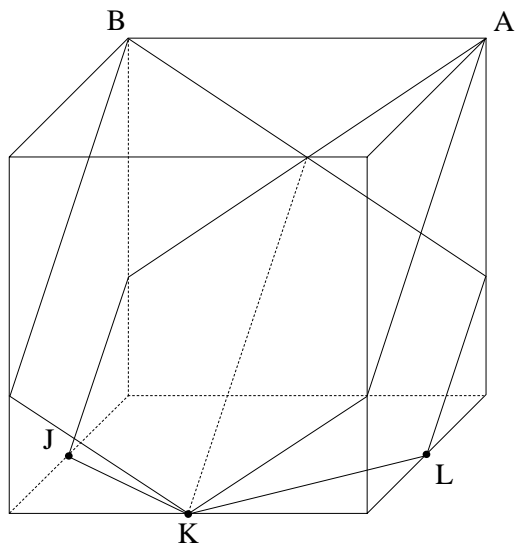
(2) まず、平面 Q で切ったときの切り口をかくと(図3)のようになります。

(図3)

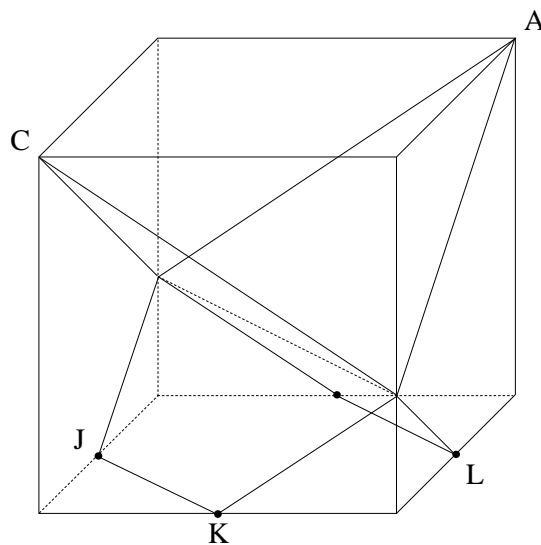


次に、2つの平面で切ったときの切り口2種類をかくと、(図4)、(図5)のようになります。

(図4) Q と R

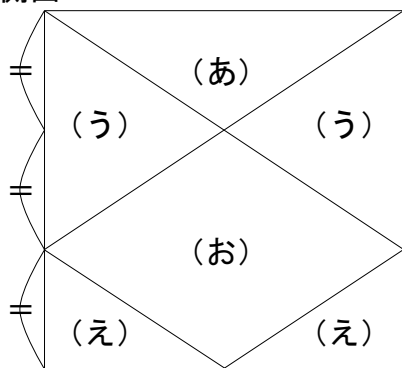


(図5) Q と S

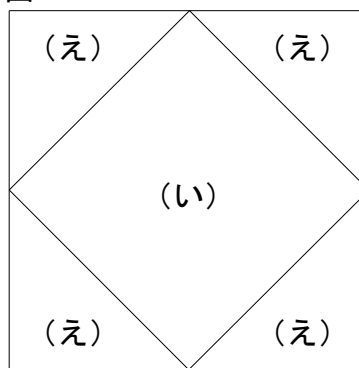


また、側面と底面に入る切り口をかくと、(図6)のようになります。

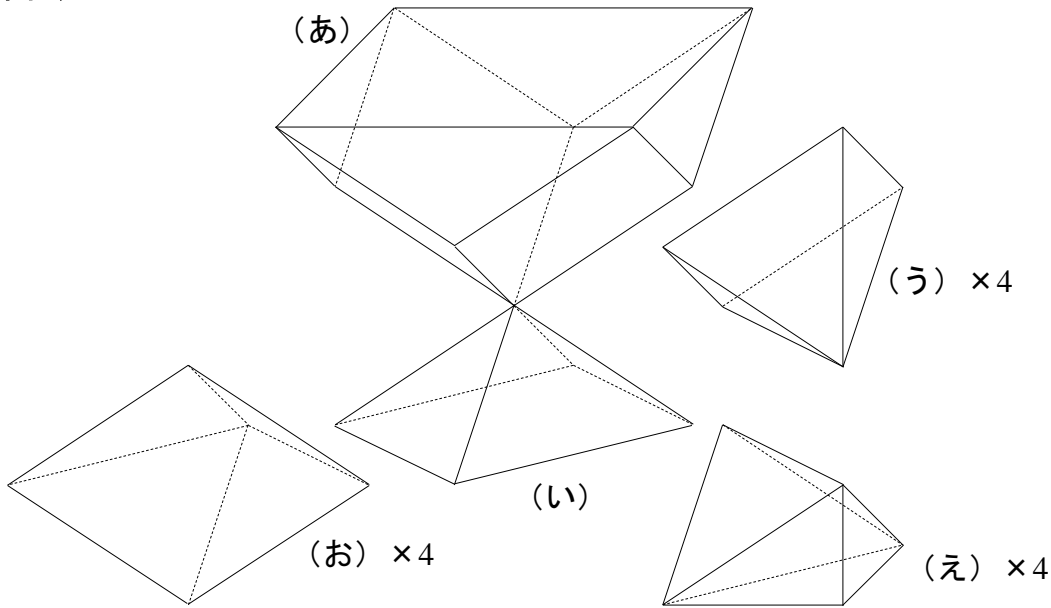
(図6) 側面



底面



以上を参考にして、まず、中央に残る立体をかき、次に周りの立体をかくと(図7)のようになります。
(図7)



※(あ)~(お)は(図6)と対応しています。

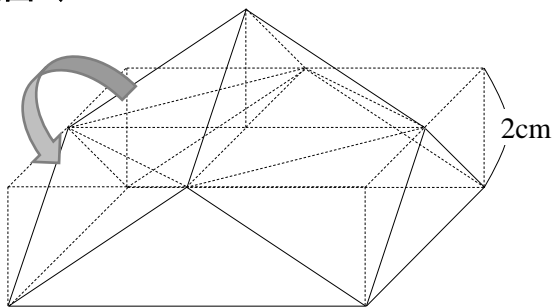
以上より、(あ)~(お)の5種類 …(答)

全部の個数は、

$$1+1+3\times 4=14(\text{個}) \dots(\text{答})$$

体積が最大の立体は(あ)であり、(図8)より、底面に平行で2cm はなれた平面で(あ)を切り、上に出ている部分を4等分して下のすき間をうめれば、直方体になります。

(図8)



$$6\times 6\times 2=72(\text{cm}^3) \dots(\text{答})$$

<参考> 4つの平面で切ったものをかくと、右のようになりますが、少し危険です。

体積は、

(あ) 72cm^3

(い) 12cm^3

(う) 12cm^3

(え) 9cm^3

(お) 12cm^3

合計 216cm^3

